

令和5年度 第10回部長会（概要報告）

- ・ 日 時 令和6年1月4日（木）午前9時00分～
 - ・ 場 所 八尾市役所第二委員会室
 - ・ 出席者 市長・副市長・病院事業管理者・水道事業管理者・各部局長・理事等
-

令和5年度 第10回部長会概要記録

日時：令和6年1月4日

午前9時～

場所：8階 第二委員会室

【市長あいさつ】

皆さんおはようございます。1月1日に石川県を中心に最大震度7を観測する強い地震があり、現在国を挙げて、救命・救出活動を展開しております。改めまして震災の犠牲になられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様にお見舞いを申し上げる次第です。

本市におきましても震度3を観測しましたが、速やかに警戒配備を敷き、被害状況の把握等に当たっていただきました。さらに、2日の午前2時には消防本部から2名の職員を、緊急消防援助隊として金沢市に派遣し、現在は後方支援活動に従事していただいております。

職員の皆さんにおかれましては、予定をしていた年末年始の業務に加えて、想定外の災害にも迅速かつ的確に対応していただき、心から感謝を申し上げます。また、今後も関係機関からの職員派遣等、幅広い分野での支援要請があると予想されます。市民からは義援金の申し込みや、震災関係の問い合わせも予想されますので、本市としましては情報を一元化しながら、できる限りの支援に取り組むとともに、改めて安全安心なまちづくりにもしっかりと対応していただきたいと考えております。

現在も懸命なる人命救助が行われております。1人でも多くの命が救えるよう、我々も努力していきたいと考えておりますので、皆さんにおかれましても、これからいろいろな対応が出てくると思いますが、しっかりと対応していただくよう、よろしくお願いいたします。

さて、令和6年という年を迎えることができましたが、現在もまだ物価高騰等厳しい状況が続いております。年末にもお伝えしましたが、市民感覚を持ちながら、市民の行政に対する期待感に寄り添い、応えていけるよう、しっかりと業務に当たっていただきたいと思います。

そのような中、次年度の予算編成もいよいよ大詰めになってきております。物価高騰対策も含め、本市独自の施策等につきましては、我々によくありがちな「行政の感覚」ではなく、「市民の感覚」をしっかりと持ちながら、市政運営に当たっていただきたいと思います。

最後に、今年は辰年です。これまで蒔いてきた種がしっかりと成長する年であり、大きく物事も動く年とも言われております。これまで皆さんが努力を重ねてきたことが、成功に近づく年でもありますので、引き続き、先ほど申し上げました、「市民感覚」を持って、

しっかりと業務に当たっていただきたいと思います。

インフルエンザ、コロナ等も若干増えてきているところですので、今年も皆さん健康には十分ご留意いただき、この1年間しっかりと業務にあたってくださいようお願いし、年頭のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【植島副市長】 案件に先立ちまして、1月1日に発生しました能登半島での地震の対応状況について報告を求め、情報共有をしたいと思います。

【危機管理監】 1月1日に発生しました能登半島地震につきまして、本市の状況をご報告いたします。16時11分、八尾市役所震度計におきまして震度3.0を計測しました。これに基づき、警戒配備体制をとり参集をいただいたところです。参集いただいた所属につきましては、消防、危機管理、統括班であります財政課、資源運用グループ長、その他の方々で、総勢80名体制となりました。

市内の被害状況等につきましては、消防、警察、市庁舎の管理センターに確認したところ、被害状況はなく、その後も経過観察を行っていましたが、被害報告がなかったため、最終的に18時45分に警戒配備を解除いたしました。

当日対応にあたっていただきました職員の皆様におかれましては、ありがとうございます。また今後につきましても、市民の安全安心のために、不測の事態に備えて、迅速な対応を心がけてまいりたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、現状におきまして、大阪府、市長会、協定締結市からの応援要請等はありませんが、それぞれの部局では個別に何件か要請があったと伺っております。今後、個別に応援要請等がありましたら、危機管理までご一報いただきたいということと、市長会・大阪府から応援要請があった際には改めてご協力をお願いする場合が出てくるかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【消防長】 能登半島地震における緊急消防援助隊大阪府大隊の出場と現時点での活動の概要について情報提供させていただきます。

1月1日16時10分石川県志賀町においてマグニチュード7.6震度7を観測した令和6年能登半島地震が発生しました。これに伴い、消防庁長官から同日17時30分大阪府に消防緊急援助隊出場の指示がありました。

大阪府としては、大阪府大隊の標準的な隊編成に基づき、指揮支援隊、航空隊、救助隊、救急隊、消火隊、後方支援隊の計54隊212名が出場しています。なお、八尾市は後方支援隊として、1隊2名が1月2日午前2時に消防本部を出発しました。

大阪府大隊は、金沢競馬場に集結し任務確認を行い、輪島市での救出救助活動を任務とすることが決まりましたが、道路寸断のため車両では現地に向かえず、自衛隊のフェリー等で輪島港へ向かい、現在は救出救助活動を実施しております。また、八尾市の後方支援隊は、1月2日14時頃に金沢競馬場後、ベッドの設営・清掃・食事の準備等を行っております。

現在、能登地方において、かなりの倒壊家屋及び行方不明者があるとの情報を得ており、先が見えない状況である中、各隊員が疲労困憊の状態であるため、交代要員として、5日7時に2名が出場予定であります。また、今後の状況にもよりますが、救助・救急・消火隊の車両出場要請があれば任務の変更する可能性もあります。

【人権ふれあい部】 日本赤十字社の義援金は、現在、現金受け付けの準備をされております。

す。準備が終わりましたら、それぞれの自治体に今回の地震の義援金の口座が通知されます。

本市では、出張所、人権コミュニティセンター、各公共施設の方で可能な限り義援金の募金箱を置いていただき、義援金を集めて日赤に送るという流れになると思います。日赤から通知の方が来ましたら、皆さんにメールでお知らせをさせていただきますので、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

【健康福祉部長】八尾市社会福祉協議会での義援金についての動きについて、報告します。赤い羽根共同募金を行っている中央募金会が、1月2日から募金を開始しており、八尾地区募金会については、本日募金を開始するとともにホームページに掲載する予定です。また、災害ボランティアセンターの応援についても、大阪府社協が情報収集していく予定であると八尾市社協から報告を受けております。

案件

1 DX 研修の開催について

政策企画部長

本市では、市民生活の質の向上や行政活動の生産性向上をめざし、自治体デジタルトランスフォーメーション、いわゆる「DX（ディーエックス）」を推進しており、電子申請システム、RPA（アールピーエー）、OCR（オーシーアール）や、議事録作成支援システムといったAI技術を活用したシステムのほか、自治体情報システム標準化の推進に取り組んでいるところです。

一方で、行政内部も含めたDXを実現するためには、単なるシステム等の導入だけではなく、情報化技術の進展や、更なるデジタル化の推進をめぐる状況の変化に合わせ、業務フローの見直しも加えながら、ICTやデジタル技術を活用することが重要です。本市では、令和4年度にDXに係る研修を実施し、また、昨年10月には「令和5年度DX推進トップセミナー」を開催し、全庁的なDXの推進に努めており、引き続いてデジタル知識の底上げを行いながら、DXの最新動向や重要性を理解し、業務見直しやデジタル活用を行うことを目的として、令和6年2月1日および7日に「DX研修」を開催いたします。

本研修は、令和4年度の研修およびDX推進トップセミナーでも講義いただきました、「米田 宗義（よねだ むねよし）」様に、今回は、総務省の「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」制度を活用し、お越しいたします。

DX研修の開催時間等の詳細は、追って、各所属へ開催案内を送付させていただきますので、各部署長におかれましては、趣旨をご理解いただき、所属長に周知、ならびに積極的な参加を呼びかけていただきますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

【植島副市長】DX研修につきましては、昨年に引き続き開催させていただきます。いきなりシステムを導入するのではなく、その前に現在の業務をしっかりと見直し、業務改善のための手法を学び、それを仕事に当てはめることで仕事の効率化につなげていただきたいというのが目的であります。前回研修に参加されていない職員も研修に参加していただき、しっかりと業務に役立てていただきますようお願いいたします。

その他、人権ふれあい部長から、校区まちづくり交付金制度の情報共有について、魅力創造部長から、まちのコインのクラウドファンディングについて報告があった。

次に植島副市長から以下の発言があった。

新しい年が始まりましたが、元日から地震や航空機事故など、大変な事象が続いております。また、物価高騰については、現在も市民の厳しい生活が続くなど、本市としても大きな課題を抱える中、新しい年を進んでいくことになります。

本年も部局長のリーダーシップのもと、組織が一丸となり、市民生活を守っていくことに取り組んでいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。